



通信ゆめじろう

第78号

発行日

2020年4月10日

被害者から主体者へ「明るい未来へ！」

山梨県的女子中学生が県へ600枚のマスクを手作りして寄付をしたことが話題になりました。このニュースは、疲弊した日本国民に大切な気づきを与えたと思います。

新型コロナウイルス感染症の発生は、私たちに大きな不安だけでなく、暮らしにも沢山の制限が課せられました。経済活動にも影響が出て、仕事を失った人や大きな負債を抱えることになった企業や事業所もありました。それ以外にも、これまでの暮らしが継続できないことは、たくさんの人たちのやり場のない怒りや対応をする機関や人々に対する非難や攻撃を生みしました。ゆめじろうでも、喫茶事業の営業停止や外出などを支援するサービスの利用制限、イベント中止によるコロッセ販売の収入減など少なからず影響を受けました。

そんな中で、少しずつですが立ち止まらざるを得ない今だからできる行動が生まれ始めました。外出支援の事業所では、日頃できなかった記録の整理を行いました。感染拡大予防の観点から、スタッフ利用者の封じ込め対応をせざるを得なかったグループホームでは、被災時の実践的なシミュレーションの

機会となりました。制限された中での活動は、見方を変えれば新しい経験を私たちに与え、そのことにより多くの気づきを得ることができました。

福祉分野では、2025年問題(団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり社会が大きな負担を負わなければならない)はすぐそこに迫っているのに、現場レベルでもどこか絵空事で現実味がありませんでした。しかし、今回の事態で実際にサービスや人材の不足する状況、サービスが利用できない状況を体験し、どんな生活になるかが鮮明にイメージできるようになりました。

一人の女子中学生が、ドラッグストアに並ぶ高齢者の列を見て、自分の今できることを見つけ行動したように、私たちも今だから、この状況だからできることを見つけ、地域のため社会のために行動していくことで、きっと1年後の今ごろは今よりも強くて明るい私たちや地域になっていると思います。これが、1年後のゆめじろうの「未来予想」です。

今年度事業継続計画(BCP)の作成に取り組んでいたことも、今回落ち着いて対応できた要因の一つでした。

目次

理事長あいさつ	P1
ゆめじろう2019年度事業の総括	P2 P3
ケアマネジャー 高齢者ヘルパー サロン その他	P4 P5
相談支援事業所 障害ヘルパー ひるじろう(生活介護) ひるじろう(就労継続B)	P6 P7
こじろう サンワコーポ(GH) イベント報告	P8 P9
活動実績 シリーズ「地域の目」 インフォメーション	P10 P11
アクセス 探しています いただきました コロッセカー 編集後記	P12

ゆめじろうのホームページが新しくなりました！

<http://yumejirou.or.jp> ※スマートフォン・携帯からもご覧いただけます。

こちらから



NPOで地域福祉を進める取り組み

〒470-2531
愛知県知多郡武豊町大字富貴
字外面85-2

総合・介護

☎ 0569(72)2963

障害者関連

☎ 0569(72)0012

障害者相談

☎ 0569(72)6464

コロッセ専用

☎ 0569(72)2156

FAX(共通)

0569(72)6454

ホームページ

<https://yumejirou.or.jp>

2019(令和元)年度事業の総括

■障害者相談支援

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	733件	665件	680件

●総合評価

十分な相談員の増員ができず、プラン作成をお断りすることがあった。セルフプラン作成のフォローを行ったが、わかりにくさが出てしまった。

●2020年度目標

相談員不足によるプラン作成をお断りすることの内容、人員の増員を行っていくとともに、スキルアップを図っていく。また、基幹相談支援センターの在り方について、自治体や関係機関とともに検討していく。

■居宅介護支援(ケアマネ)

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	680件	734件	950件

●総合評価

他機関との関係づくりを大切にした結果、急ぎや困難ケースの依頼を多く受け入れることができた。訪問相談時には介護保険だけでなく家族の相談を受けるなど高齢・障害の枠を超えて対応力がついてきた。

●2020年度目標

他機関の機能を理解し更に連携に努めることで、迅速に必要な相談窓口につなぐことができる事業所となる。また、障害や児童のケース検討を通じて制度理解を進め「断らない相談窓口」を目指していく。

■居宅介護等事業(障害ヘルパー)

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	2820件	2948件	3200件

●総合評価

本人や家族との面談や支援中のアセスメントから、自己実現につながる中身の濃い支援を行うことができた。また、学生ヘルパーを中心とした会議運営を行い、結果よい支援へとつながった。一方、人材確保が十分にできず行動障害のある方への派遣を伸ばすことができなかった。

●2020年度目標

現在の利用内容・時間を見直し、質の高い支援を行うとともに行動援護対象者への派遣の増加を目指す。

■訪問介護(高齢ヘルパー)

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	4520件	3863件	4310件

●総合評価

スタッフに外部研修の参加を促し、一人1回以上参加することができた。サービス検討会の場で、参加した研修の内容報告による情報共有ができた。目標の訪問Aの受け入れを増やすことができた。

●2020年度目標

事業の適正運営を目指すため、一定の枠を設けその中で訪問Aの受け入れを行っていく。引き続き、サービスの質の向上のため研修会へ積極的に参加していくとともに他機関との連携強化を目指していく。

■生活介護「ひるじろう」

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	2445人	2434人	2450人

●総合評価

目標だった余暇活動を増やすことはできなかったが、これまで個別対応を行ってきた利用者の状態が安定し、集団対応が可能になった。多様な利用者がいる中でストレスが高くなっていたが、活動スペースを区切ったことで落ち着いて活動できるようになった。

●2020年度目標

家族の介護負担軽減のため、カレンダー上で4日以上連休の解消や祝日実施を少しずつ進めていく。利用者にあった活動や活動スペースの確保を行う。

■就労継続支援B型「ひるじろう」

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	1916人	1869人	1950人

●総合評価

イベントの中止でコロッケの売り上げは2年連続で1割減。一方、2月から中電工事現場での販売が始まり、売り上げを補っている。また、材料高騰の中、ジャガイモの契約業者から安く仕入れることができ費用を抑えることができた。売り上げアップ対策として季節商品を製作した。定例の料理教室、お化粧品教室開催した。

●2020年度目標

工賃アップのため、季節商品、新商品の開発と新聞やケーブルテレビも活用した販売促進を行う。

主要事業について

■放課後等デイサービス「こじろう」

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	1663人	1832人	1827人

●総合評価

目標に挙げた祝日開催は実施できた一方、土曜日開催は人員確保ができず実施できなかった。活動面では、地域貢献活動としてのごみ拾い活動を実施できた。

●2020年度目標

利用者からの聞き取りのもと、こじろうが目指すサービスの目的を利用者へしっかりと周知し、この先も地域生活を持続可能とするようなサービスを行っていく。

■共同生活援助(グループホーム)「サンワコーポ」

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	2117人	2137人	2200人

●総合評価

週末利用については、利用者も慣れ利用回数場増加した。地域生活支援拠点としての体験的宿泊については、体制が整いつつあり、数名の受け入れを行うことができた。1名の空き定員については、マッチングができず実績の減少となった。

●2020年度目標

利用者募集を行い、早期に空き定員の解消を目指す。引き続き、地域生活支援拠点機能の強化を行っていく。

■フリースペース事業

	2018年度	2019年度	2020年度
実績	サロン420人 さをり 85人	サロン357人 さをり 97人	サロン380人 さをり 100人

●総合評価

オレンジカフェは、月に1度他団体と一緒に実行委員会を作り開催をした。参加者の伸びはなかったが一定の役割を果たすことができた。

おしゃべりサロンは週1回開催。毎回10名程度の参加。さをり織りは月に2回開催。数名の常連が参加した。

●2020年度目標

オレンジカフェ継続については、町全体の取り組みにするかも含め検討していく。それ以外は、継続実施。

■プロジェクト活動

●総合評価

きのこプロジェクト:12/1にイベント「自然公園を楽しもう！」開催。草刈り・パトロール他、事業成果を上げるため担当課との打ち合わせを行いました。

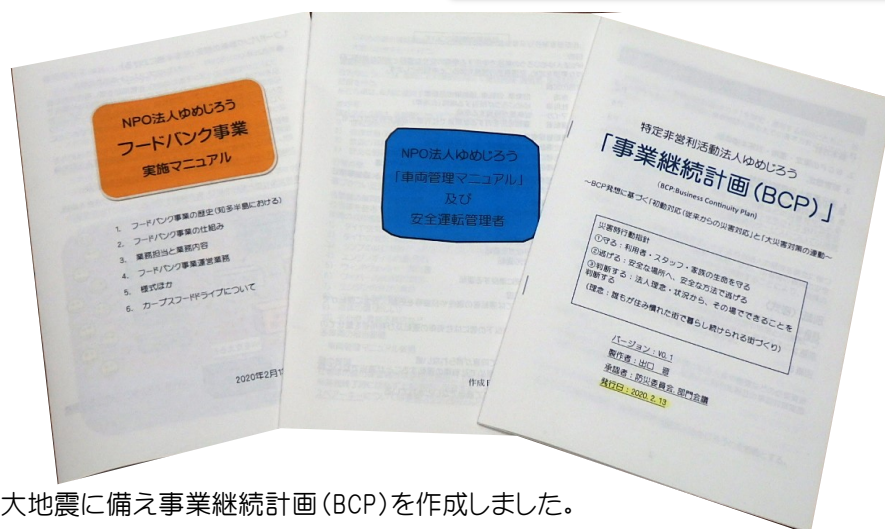
月々カレー:月に1回月替わりのカレーの提供し、必要とする人とのつながりの場とすることができました。8月は夏休みイベントきもだめしを行い沢山の子もたちが参加しました。P9参照

ゆめ市:年2回開催し、出展者など少しずつ地域の輪が広がってきました。P9参照

スマイルマラソン応援団:小雨が降り続く天候のもと、応援とエイドステーションを行いました。

●2020年度目標

各事情、継続する中で成果を積み上げていく。



南海トラフ大地震に備え事業継続計画(BCP)を作成しました。

そのほか、事業背景を理解した業務引継ぎ及び継続実施を行うため各種マニュアルを作成しました。



『らしさ…』

医療機関や施設に属さない居宅介護支援事業所として18年目を迎えます。

小回りが効くことを強みとし、これまで変わらない対応をしてきました。

富貴地区の方からの依頼、ゆめじろうとのつながりがある方やその家族と、地域の中での役割や、人とのつながりの深さなど実感し、急ぎの対応が必要な方の依頼を受理するなど、「困った時のゆめじろう」が定着しつつあります。

また、これまで通り 本人のみならず、ご家族の思いにも同時に向き合うことも大切にしながら、ゆめじろうらしい支援に努めていきたいと思っています。

結構無駄な動きが多いと思われる…ゆめじろうのケアマネジャーですが…

それぞれの らしさ…も大切にしながら、一

ケアマネ

回り大きく成長していきたいと思っています。

(西川)



『一日十笑』

月に一度のヘルパー会議時、あるヘルパーより「一支援一笑」を心がけていますという話を聞きました。早速、私も取り入れたいと思いました。

「笑い」は心やからだ、脳の働きを活発にし免疫力を高める効用があります。

「一笑一若」という言葉があるように利用者さんの中で、笑いが多い方は、実年齢よりお年がお若いように感じられます。

「笑い」は、免疫力を高める・ひらめきを与える・血行を促進する・ストレスを解消する・コミュニケーションを円滑にする他、認知症予防にもつながります。笑えない時は、つくり笑いをしただけでもいいようで、一緒に微笑んでみたり、声を出して「はっ、はっ、はっ」と笑いましょう。

「笑い」は、すばらしい時間を共有するきっかけ作りともなります。皆さんと関わるひと

高齢者部門ヘルパー

とき、一回でも多くの笑いを届けたいと思います。

今、世界中で新型コロナウイルスが大きな影響を与えており、多くの人々が不安を抱えています。ある利用者さんも家族の方から「不要な外出は控えるように」と忠告され、皆に迷惑をかける事になるといけないからと出掛けない様になっているとお話しされてました。家でできる事を見つけ、一つずつこなしているそうです。こんな時だからこそ暗くならず笑顔でいたいものです。家で楽しめる事、できる事、意外にあるかもしれません…。

コロナウイルスの一日も早い終息を願い、さらに感染の予防に努めていきたいと思っています。



(靱山)

『春の音が聞こえてきました』

サロン

桜の開花の知らせが届き、うぐいすの声が聞こえてくるようになりました。

草木も人もウキウキする4月になってきましたが、今年は、新型コロナウイルスの影響でゆめじろうで行われているサロンも休止しています。まだまだこの休止は続きそうですが、身体を長く休めてしまうと体力や筋力も低下してしまいます。こんな時期だからこそできる事を考えてみましょう。

新型コロナウイルスの感染予防のために、複数の人が換気の悪い場所での会話や飲食は避ける事が必要だそうです。換気のいい場所で、人と人の間隔をあけて行えることは何でしょうか。家の中や庭で一人で行えること・・・春だからこそ家の掃除や普段なかなかできない場所の片付けをしてみようと思います。また、散歩も良いと言われています。私たちの楽しみは散歩をしながらあれこれと話した

り、散歩のあとのおやつですが、一緒に食べずにおすそ分けやお菓子の交換などや電話だったらいろいろと話せそうです。少し方法を変えてみるといういろいろとできる事も見えてきます。

マスク不足ですがガーゼのハンカチが家のどこかに眠っていませんか？簡単にマスクになります。ゴムのかわりにストッキングを輪っかのまま切って使うと耳が痛くならないそうです。ぜひお試しください。



(小藤)



厚生労働省よりマスクが届きました。

テレビ等でも報道されていましたが「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 第2弾」において介護施設や障害者施設、保育所等、今般の学校休業に伴う放課後児童クラブなどの現場におけるマスク不足の解消を図るため、再利用可能な布製マスクを、国が2000枚購入し、地方公共団体の協力も得つつ介護施設等に一人一枚は行きわたるよう配布することになりました。

ゆめじろうにも3月末にマスクが届きました。

届いた布マスクは利用者さんや職員に一枚ずつ配るようにしたいと考えていますが、枚数が限られていますので今のところ誰からどのように配るか考え中です。

また、布製マスクや手製の布マスクの洗い方については、厚生労働省が動画で配信していますので下記のURLから見て下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=AKNNZRRo74o>



新人君修行中！



男性スタッフが少ない福祉業界。様々な雑務がありますが、タイヤ交換もその一つ。大半は、業者にお任せしていますが、一部まだスタッフが行っています。新人の濱本くん、先輩の指導のもとタイヤ交換を行いました。

『より良い町をつくるために』

障害者(児) 相談支援

相談の部署に異動をして半年が経ちました。まだまだ分からないことが沢山ありますが、こじろうやヘルパーで働いていた時と大きく違うなぁと感ずることがありました。それは多くの異なった立場の人と会い、話をすることや協働することが多くなったことが挙げられます。大人になると私たちは「決まった同じような価値観の人」と話すことが多くなってしまっているように感じます。

昨年度圏域アドバイザー日本福祉大学の木全先生が知多南部自立支援協議会の全体会でおっしゃっていたこの地域の良さとして、「対話する力がある」ということをおっしゃっていました。つつい悪いことに目を向けがちですが、この「対話をする力」ということはどんな仕事をする上でも大切なことだと思います。相手の話に耳を傾け、受け入れる気持ちがないとできません。そのような「対話する力がある」この地域は、より良い町になっていくと思います。

2020年度の私は、まず相談の仕事をしっかり覚え

ていくとともに「対話をする」ということを考えながら、多くの人と色々なことに取り組んでいきたいと思っています。私の本棚に長らく積読されていた平田オリザさんの著書「対話のレッスン」を読むときがきたようです。

何かの参考になればと思い買いましたが、ついに…読み始めます。

(加藤)



『「歩く」を目的に』

障害者(児) ヘルパー

自分で車を運転するようになって早4年。最初のころは、まっすぐに進むことも恐ろしく、武豊の道も分からなかったのが、一人暮らしの私の出かける時の移動手段は、徒歩・自転車・電車だったのが、いまでは、ほぼ車オンリー。(ヘルパー担当になってからは、自転車に乗ることもゼロに。)暑くもなく、寒くもなく、雨の日も、風の日も、疲れ知らずで、すぐに着く車が、いつの間にか一番の移動手段になっていました。多くの方もきっと同じではないでしょうか。

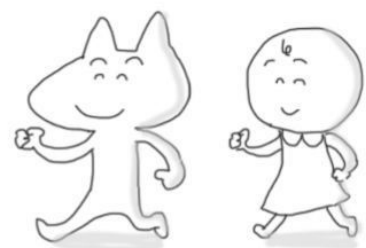
歩くことがめっきり減ってしまった私は、すっかり足腰が弱り、、、歩くのが億劫なことナンバーワンになりました。ですが、ヘルパーの支援と一緒に歩かせてもらう利用者さんの中には「歩くことが好き」だったり、「目的地に着くのが楽しみ」だったり、一人ひとり理由は違いますが、とてもにこにこ歩かれています。方いらっしゃると思います。そんな方と歩いている時は、自然と楽しく歩けるようになっていきました。(いつからか、「こないだ〇〇の近くを、にこにこ歩いてたね」という嬉し恥ずかし目撃情報がたくさん寄

せられるようになっていきました。)そしてそんなときは、可愛い花が咲いているなと思ったり、空の色がきれいだなと思ったり、いろんな幸せに気がつくようになりました。

「歩く」ことは手段としては、遅いし億劫ですが、2020年は「目的」に格上げをして、町内に限らず、いろんなところを歩きまわりたいです。そして、休みの日は昨年個人的大ブームが起きた!!懐かしの「写ルンです」をもって出かけ、いろんな瞬間を切り取りたいです。

(鮎沢)

ウォーキング!
レッツ!



『笑顔あふれる一年に』

「未来予想図」皆さんはこのテーマを聞いて何を思い浮かべますか？

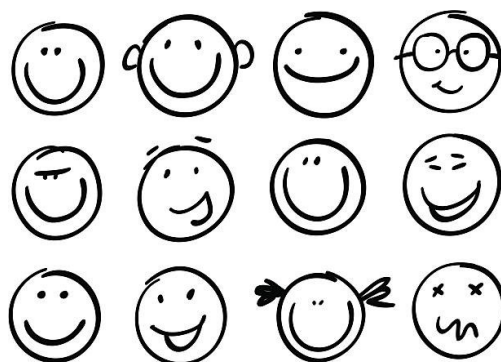
一年後、私はどうなっているのでしょうか。なりたい自分に近づけているのでしょうか。「もっと効率よく仕事できるようになりたい」「すぐ落ち込んでしまうところを直したい」など、変わりたいことはもちろんたくさんあります。

しかし、ひるじろうの皆さんを見ていると、変わらずに持ち続けたいこともあるなと思います。それは「皆さんとの会話を楽しむ」ことです。ひるじろうの活動中、スタッフと利用者の方が笑いながらおしゃべりしている場面を見ると、ほっこりとした気持ちになります。また、利用者の方に話しかけた時、その方が少しでも笑ってくださると、自分もとても嬉しくなります。「今日の晩ごはん何にするの？」「昨日の野球見た？」「この間うちの旦那がね・・・」何気ない会話かもしれませんが、皆さんの笑顔を見ていたら、仕事はもちろんですが、こうした時間を大切にしたいと強く思いました。

ひるじろう（生活介護）

ひるじろうも4月から新体制を迎えます。変わるところはいくつかあるかもしれませんが、今ある大切にすべきところはそのままに、元気な笑い声が聞こえてくる事業所であり続けたいと思います。

（山田あ）



『コロッケカー未来予想図』

ひるじろう（就労B型）

移動販売車（コロッケカー）がゆめじろうに来てから9年が経ちました、そろそろ二代目キッチンカーのことを考えなくてははいけません。

スタッフの高齢化を考えて、安全装置のついた車が必要ですが、それはさておき未来のコロッケカーは自動運転はもちろん販売にもIT技術が駆使してあるでしょう。販売場所についてからの旗や看板は自動で設置、車の壁面は液晶ディスプレイだから移動中から動画で宣伝広告ができる、接客は遠隔操作のロボットが対応、ネットで注文を受ける、揚げ作業は自動で投入と時間管理して揚げ終わったら自動で袋に入れてお客様に渡す、支払いはもちろんキャッシュレス、これではスタッフどころか利用者さんも要らなくなってしまうね。

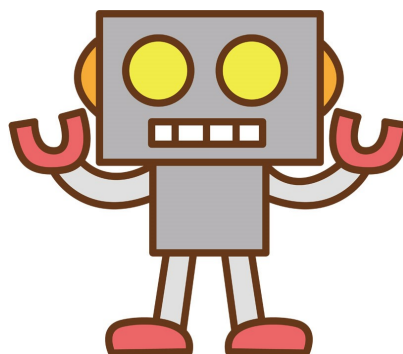
そうしたら24時間365日、知多半島のあちらこちらで販売ができます。そして美味しいコロッケをたくさん作ってたくさん売りましょう。

そうだキッチンカーのブレーキランプは自動で5

回点滅できるようにしよう。

「お・い・し・い・よ」

（文男）



『だれよりも明るく元気に』 こじろう(放課後デイ)

新年度がやってきました。昨年度はどのような1年だったでしょうか。先日、友人とのプライベートの時間があり、その際「何年経っても元気だね」と言われたことがありました。こじろうでの活動中、とある公園にて利用者さんと鬼ごっこをする機会がありました。始まりから終わりまで元気で疲れることを知らない元気さがありました。公園から帰るとき「楽しかった!」や「また遊びたい!」と笑顔で言ってきました。この元気いっぱいな姿を見ていると「いつまでも元気でいたい!」と感じられます。疲れた姿を見られると「もっと頑張るよ!」とツッコミが入ります。利用者さんのツッコミに応えるため、運動する時間を作りました。利用者さんの何気ないひと言で行動してみることもいいですね。「最近、運動始めたよ」と利用者さんに伝えるとにこにこして「公園に行くのが楽しみ」と言ってくれました。日々、利用者さんから元気や笑顔もらっています。ス

タッフから利用者、またスタッフからスタッフへと元気と笑顔を与えることも良いことと思います。3月には4名の利用者さんと学生さんのスタッフが1名ご卒業されました。4名の利用者さんはそれぞれの個性や明るさあり、学生さんもういつも元気にあいさつし、元気いっぱい活動してくれました。また4月からは新規の利用者さん2名と新卒のスタッフ岩谷さんが新しくこじろうの仲間になります。元気に明るくお出迎えをしてこじろうを盛り上げます。2020年度もよろしくお願い致します。

(濱本)



『変わらない日常が一番』

世間では新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、当グループホームにおいても、登録スタッフのご家族に、新型コロナウイルス感染の疑いがあるという情報が入り、感染拡大防止の視点から急遽全利用者さんの外出を禁止(日中活動先への通勤や自宅への規制も含め)するという処置を取りました。スタッフも常勤2名と一緒に泊まり込んで、昼も夜も支える体制としました。

結果的に感染はしていないとの医療側からのお墨付きを頂きましたが、それまでに7日間の日数を要し、その間は我慢の日々となりました。利用者さんによっては先の見通しが立たないことで不安定になってしまう方もいて、本当に見ていて辛かったです。明確な予定を伝えられない状況でしたので、一日の予定の中に食事のメニューやおやつメニューなどを付け加えて伝えるくらいしかできませんでした。その他、プロジェクターを使って即席の映画会をしたり、音楽に合わせてのダンスタイムをしたり、普段は一人で入っている

サンワコーポ (GH)

入浴をスタッフが一緒に入りいろいろお話をしたりと、とにかく少しでも楽しいと思える時間を提供するようにしました。

幸い体調を大きく崩す人も出なかったことが一番良かったことです。感染はないという報告を受け「明日から外に出られますよ」と皆さんにお伝え出来た時は、何とも言えない安堵感を感じたことを覚えています。この時期来年度のビジョンも考えないといけませんが、グループホームという日常の生活を支える部署としては「変わらない日常を当たり前を送られること」を一番に考え、日々の業務を行いたいと思います。

(山本)

利用者募集!

サンワコーポでは、利用者さん1名を募集しています。詳しくは、P11をご覧ください。

イベント報告

月巻カレー



2月の月巻カレーはきりたんぼ鍋カレー！青竹を取ってきてご飯を巻いて焼きました。初めての経験でとても楽しくてわくわくしながらお手伝いしました。来てくださった方たちにも「とってもおいし〜い！」おほめいただきました。元気よく遊べる子どもたちを見ながら大人たちは楽しくおしゃべりしていると、みんな笑顔のなかであっという間に片付け時間になってしまいます。3月は新型コロナウイルスの影響で中止となり残念でした。この1年あっという間に過ぎてしましましたが、調理・片付けなどお手伝いして頂いた方、お米やお野菜など提供して頂いた方などの協力があって楽しい時間が過ごせました。ありがとうございました。



私の家で作るカレーは市販のルーを使って作るのがメインだったので、こんなにヘルシーなおいしいカレーを作ることが出来るのかとこれから作っていかうと思ってます。

ゆめ市

地域の中で…

昨年度も年2回、開催することができました。もともとは、個の困りごとを知ること、地域の課題も見いだす目的で始めた「ゆめ市」、また、ゆめじろうのことをもっと知ってもらいたい、足を運ぶ機会を設ける目的。しかしながら実際に行ってみると、コロッケ販売やフリーマーケットといった販売に人もとられ、本来の目的を見失うことも多くありました。

そんな中でも毎回来てくださる地域の方、出店してくださる方、出店したいと言ってくださる方、地域の中で「ゆめ市」に関心をもってくださる方の輪が広がってきていることを実感することもできました。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため規制がある中、開催時期は不確定ですが、これまで広がった輪を大切に、小さな輪を少しずつ増やしていくことで、本来の目的が果たせる「ゆめ市」にしていけるよう、今年度も年2回の開催を目指していきたいと思えます。

カーブスさんから 沢山の食品をいただきました。



毎年2月の恒例になっていますが、今年も2月26日午後、カーブスさんから沢山の食品をいただきました。これは㈱カーブスジャパンが行うフードドライブという活動で、カーブスの利用者さんのご家庭にある長期保存の可能で消費期限内の食品を集めて、地域の社会福祉施設などへ提供いただくという活動です。ゆめじろうでは、カーブスMEGA

ドン・キホーテUNY武豊店様から食品の提供をいただきました。

今年でかれこれ5年ほどお世話になっています。今年は、新型コロナウイルス感染症発生の影響で大変な中、スタッフの方はいつもと変わらぬ満面の笑顔と元気さで食品を届けていただきました。スタッフの人たちは、日ごろから地域の皆さんに健康と元気を送るお仕事です。本来であれば、感染予防対策や事業継続について必死で戦っている中、「さすがプロ！」と感心するとともに、反対にこちらが元気をいただきました。人にかかわる同業者の端くれとして、ぜひ見習いたいと思えました。

あれから、スポーツジム業界はさらに厳しい事態に直面しています。今度は私から、何か元気を届けられることを行っていけたらと思います。

(出口)

活動実績

ゆめじろうの活動の一部を紹介



- 1月9日 (木) 研修会「子どもの摂食機能の発達と摂食障害について」(田中涼)
- 1月17日 (金) 強度行動障害フォローアップ研修(京都) (出口)
- 1月18日 (土) 「認知症を知る講演会」(靱山、木村、若浦)
- 1月21日 (火) スタッフ研修「障害児(者)虐待の現状と課題」
- 1月22日 (水) 主任ケアマネジャーの集い(小藤、西川)
- 1月23日 (木) 強度行動障害支援者フォローアップ共同学習会(山田、鮎沢他7名)
- 1月26日 (日) ゆめたろうスマイルマラソン応援団 エイドステーションと応援活動
- 2月9日 (日) つばみの会 施設職員のための連続セミナー (山田、鮎沢、濱本、出口よ)
- 2月12日 ~21日 愛知県相談支援従事者 主任研修(坂本)
- 2月15日 (土) 講演会「認知症になっても暮らし続けられるまちづくり」(田中)
- 2月18日 (火) 知多南部地域自立支援協議会全大会(坂本、小藤、田中、加藤)
- 2月18日 (火) 講演会「いのちの終わりの向き合い方」(靱山、若浦)
- 2月19日 (水) ゆめじろう理事会
- 2月19日 (水) 武豊町ケアマネジャーのつどい(小藤、西川、井田)
- 2月26日 (水) カーブス・フードドライブ 贈呈品受け取り
- 3月13日 (木) ゆめじろう事業継続計画(BCP) 防災交通課現場打合せ
- 3月21日 (土) グループホーム避難訓練
- 3月24日 (火) ひるじろう・こじろう・事務所火災訓練
- 3月28日 ~31日 地域生活支援拠点 緊急一時的宿泊受け入れ(成人1名)

シリーズ 地域の目

シニア世代に聞いてみた！

「ゆめじろうって何しているところ？」

／ひまわり／



第4回の今回は、一度現役を辞め、再び働く60代の方が、何をもって実際に働いてみてどう感じているのかを聞いてみました。

○どのようなきっかけでゆめじろうで働くことになりましたか？

→社協でゆめじろうのことを知りましたが、何をしているかは知りませんでした。実際はスタッフのお誘いで働くことになりました。

○実際に働いてみてどうですか？

→事務を自分のペースでやれています。監事をしていたこともあり、ゆめじろうのことを知りました。元々事務職でしたので、予算などの作成等

知っていたこともあり、それに合わせて役立っています。

【結論】

身近にシニアで経験のある人がゆめじろうを通して、その経験と能力の優れた人が関わって頂けることは非常に心強いです。地域にはまだまだいらっしゃると思います。そういったプロボノさんの力も取り入れて、ゆめじろうの発展に欠かせない存在になって頂きたいな、と思います。

*プロボノ：職業上のスキル等を生かして社会的な役割を果たす人のこと。

インフォメーション

グループホーム (サンワコーポ) 入居者募集！

現在、グループホーム(サンワコーポ)では入居者を募集しています。

- 募集人員 1名(女性)
- 利用者要件 2階(階段あり)女性ユニットの利用可能な方で障害支援区分3以下の人(消防設備の関係で)

- 費用 家賃 月額37,500円(実質27,500円)
食材料費 月額20,000円程度
光熱水費 月額10,000円
日用品費 月額 3,500円

合計 約61,000円

問合せ 0569-72-2963(グループホーム担当)まで

喫茶ゆめひろば

営業について

現在、武豊町民会館が令和2年4月17日まで臨時閉館となっています。現時点で開館のめどはたっていないませんが、開館しましてもしくは、ランチタイムのみの営業とさせていただきます。

ストロー使用削減へのご協力について

ゆめひろばでは、美しい未来の実現を目指して地球環境保護のためプラスチックストロー使用削減活動に取り組んでいます。

※様々な事情でこれまで通り必要な方にはつきましてはこれまで通り提供いたします(無料)。スタッフまでお申し付けください。

ゆめじろう各種事業の 再開について

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から停止中の事業についての再開については下記のとおりです。

サロン・月々カレー:今後、武豊町で実施する憩いのサロン等の動向を見つつ再開を行う予定です。



問い合わせ 各種担当まで
☎ 0596-72-2963

令和2年度 ゆめじろう定期総会

のお知らせ

- 日時 令和2年5月23日(土) 10:00~11:30
- 場所 ゆめじろう拠点施設にて
- 内容 2019年度事業報告について
2019年度決算報告について
役員の改選について
2020年度事業計画(案)について
2020年度予算(案)について



Yumejirou

Non-Profit Organization

GHサンワコーポ
知多武豊駅より徒歩10分
上ヶ駅より徒歩10分

武豊歯科駐車場
上ヶ駅より徒歩3分
コロッケ販売所
(毎週水曜日16時～18時)

武豊インター

名鉄上ヶ駅

名鉄知多武豊駅

ゆめじろう
富貴駅より徒歩4分
武豊により車で7分

こじろう
富貴駅より徒歩5分
武豊により車で7分

富貴小

名鉄富貴駅

カエルシア

富貴ヨットハーバー

コメリ

カアミヤ

富貴駅前
富貴駅より徒歩0.5分
コロッケ販売所
(毎週火曜16時～18時)

ゆめじろう茶屋
富貴駅より徒歩2分
武豊により車で7分



🔍 探しています！

- ひるじろう DVDディズニー、お母さんと一緒など、液晶テレビ小型のもの、エアロバイク、オセロゲーム、ドライヤー、タオル
- 相談 チャイルドシート(座位保持装置付き)
- 高齢 ガーゼのハンカチ



いただきました！

- こじろう
電気ポット、ツリーラック、ナノレゴブロック

コロッケカー出店情報

火曜日 武豊町役場(正面玄関)

11:30～13:00

富貴駅(踏切西側)

16:00～18:00

水曜日 武豊歯科(駐車場)

16:00～18:00

金曜日 令和元年度いっぱいでした。

「コロッケカーでお待ちしております」

Tel 0569-72-2156(ニーちゃんコロッケ)

編集後記

2020年度広報委員が担当する「通信ゆめじろう」は今号で最後となります。通信ゆめじろうは、ゆめじろうと会員様をつなぐ情報誌としてわかりやすい紙面づくりに努めてまいりました。秋には、委員全員で研修会に参加し、広報誌は会員様に向けての「ラブレター」であることを学びました。次号より、新しい広報委員メンバーに引き継がれますが、今後とも「通信ゆめじろう」をよろしくお願いいたします。(広報委員一同)